事務事業評価シート　令和　1　年度事後評価・決算

令和　3　年　2　月　22　日時点

所管課	子育て支援課	担当班	子育て支援班

事務事業名	コード	14900	出産祝金支給事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	3	3	1

施策体系					
基本施策	7	子育て支援の充実	根拠法令	旭市出産祝金支給条例他	
施策の展開	16	子育て世帯への経済的支援	戦略事業	84	出産祝金支給事業
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業（重点施策）重2
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間
- ☑ 単年度繰返
  - ☑ 平成 10 年度～
  - ☐ 開始年度不詳
- ☐ 期間限定複数年度
  - 平成 ＿ 年度～
  - 平成 ＿ 年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

〇出産祝金・・・1年以上前から旭市に継続して住民登録を有しかつ現に居住している者で、第2子以上を養育し、第3子以降を出産して養育する父母に対し祝金20万円を支給する。平成28年度から第2子を出産した父母に対してお祝い金10万円を支給。
〇入学祝金・・・出産祝金を支給した人を対象に小学校入学時に5万円を支給。平成24年度廃止したが、経過措置により平成24年度までに出産祝金を受給した方を対象に平成30年度まで継続

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状

人口減少対策として、市民の出産を奨励祝福して、祝金を支給し、次代を担う子供の健全育成を図ることを目的として旧干潟町で事業をスタートし、合併後も継続実施することとなった。

④事務事業に関する課題・環境の変化

当初、出産祝金100,000円、入学祝金50,000円であったが、平成24年4月1日生まれの子どもから、出産祝金200,000円とし、入学祝金を廃止（但し、経過措置により平成30年度まで継続）した。

⑤事務事業に対する住民からの意見等

第2子の出産祝金に喜びの声がある。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（1年度の決算）　単位：千円

1.第3子出産祝金	17,400	200,000円×87件
2.第3子入学祝金	50	50,000円×1件
3.第2子出産祝金	13,300	100,000円×133件

② 特定財源の内訳（1年度の決算）　単位：千円

1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他		

前年度増減理由	入学祝金の経過措置が過ぎたため

			単位	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	1年度（決算）	2年度（予算）
事業費	費目内訳	1. 第3子出産祝金	千円	15,400	14,400	15,600	17,400	18,800
		2. 第3子入学祝金	千円	3,000	3,900	3,550	50	
		3. 第2子出産祝金	千円	13,700	17,300	13,700	13,300	14,900
			千円					
			千円					
	事業費計（A）		千円	32,100	35,600	32,850	30,750	33,700
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
		5. 一般財源	千円	32,100	35,600	32,850	30,750	33,700

従事職員数	常時	1	人	最大	人	×	日	＝	延べ	人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

1年度実績（1年度に行った主な活動）

第3子出産祝金の支給
第3子入学祝金の支給
第2子出産祝金の支給

	③ 活動指標名	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（計画）
ア	第3子出産祝金	件	77	72	78	87	94
イ	第2子出産祝金	件	137	173	137	133	149

目的

② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）

対象	子育て世帯
意図	出産に係る経済的負担が軽減される
対象	
意図	

	④ 成果指標名	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（実績）	1年度（実績）	2年度（計画）
ア	第3子出産に係る経済的負担軽減額（出産祝金額）	千円	200	200	200	200	200
イ	第2子出産に係る経済的負担軽減額（出産祝金額）	千円	100	100	100	100	100

(4)事務事業優先度評価の結果

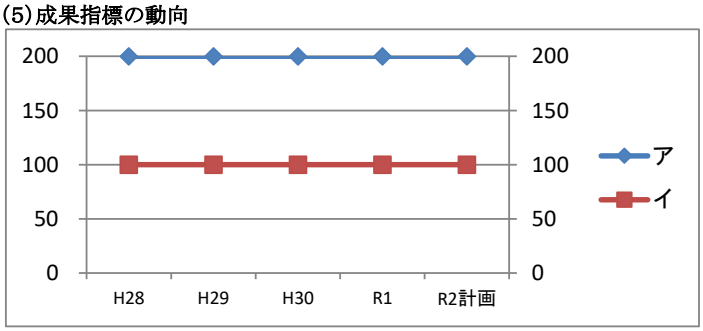
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度評価結果	①			
	②③		(5)	
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☑ 順調　☐ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標	成果指標のタイプ					
成果指標ア		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下
成果指標イ		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下

【コメント】（低下の場合、その理由）

成果動向	比較	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2計画
	ア	0	0	0	0	0
	イ	100	0	0	0	0

③ 今年度取組事項（2年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
通年	・第2子以降に生まれた者を対象に出産祝金を支給

今後の方向性
- ☐ 拡大
- ☑ 現状維持
- ☐ 見直し
- ☐ 縮小
- ☐ 廃止・休止
- ☐ その他（　　）

通年　第2子以降を出産した父母を対象に出産祝金を支給する。